

1~9月は1.9%増の1026万TEU

■5大港・最速報値

5大港（東京港、横浜港、名古屋港、大阪港、神戸港）の2025年1~9月累計の外貿コンテナ取扱量（最速報値、実入り・空コンテナ合計）は、前年同期比1.9%増の約1026万TEUだった。1~9月実績としては2年連続で1000万TEUを超えた。神戸港を除く4港で外貿コンテナ取扱量はプラスとなった。

各港湾管理者が今月12日時点で公表している港湾統計を基に、本紙が5大港の外貿コンテナ取扱量をまとめた。実績は表のとおり。東京港、横浜港は9月のみ最速報値、名古屋港は名古屋港管理組合が公表する外貿コンテナ施設別取扱数年次推移表から集計した。大阪港は1~7月が速報値で、8~9月が最速報値。神戸港は速報値となる。5大港合計の輸出は2.4%増の506万TEU、輸入は1.5%増の519万TEUだった。港別では、東京港、名古屋港、大阪港は上期（1~6月）に続いて輸出、輸入、輸出入合計の全てでプラスとなった。一方、横浜港の輸入や、神戸港の輸出、輸入、輸出入合計は減少が続き、

港	合計	前年同期比	輸出	前年同期比	輸入	(TEU、%)
						前年同期比
東京港	3,171,264	3.4	1,402,335	1.6	1,768,929	4.9
横浜港	2,049,296	0.4	1,115,240	3.1	934,056	▲2.7
名古屋港	1,948,048	2.9	1,003,266	2.9	944,783	2.9
大阪港	1,545,182	4.3	706,430	6.4	838,753	2.5
神戸港	1,544,253	▲2.4	837,624	▲1.0	706,628	▲4.0
5大港合計	10,258,043	1.9	5,064,895	2.4	5,193,149	1.5

いずれもマイナス幅は上期から拡大した。

品目別（トンベース）で見ると、東京港は8月までの速報値で、輸出は産業機械などが好調だった。一方、輸入は衣服・身廻品・はきものや電気機械、製造食品などが堅調に推移した。

横浜港は8月までの速報値で、輸出は自動車部品や完成自動車が2桁増と好調だった。産業機械や電気機械も堅調に推移した。他方、染料等化学工業品はマイナスとなった。輸入は電気機械や衣服・身廻品・はきものが好調で、製造食品も堅調に推移した。

名古屋港は8月までの速報値で、輸出は自動車部品や完成自動車、産業機械などがプラスとなった。輸入は衣服・身廻品・はきものや自動車部

品、その他、化学工業品などが好調だった。

大阪港は7月までの速報値で、輸出は産業機械や鋼材がプラスとなった。他方、染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品や再利用資材はマイナスとなった。輸入は衣服・身廻品・はきものや電気機械、染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品が好調だった。

神戸港は8月までの速報値で、輸出は産業機械や染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品がマイナスとなったものの、自動車部品はプラスとなった。輸入は、衣服・身廻品・はきもの、製造食品などがプラスとなった。他方、染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品は減少した。